

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌

CELERY

セロリ

2003
No.48

平成14年度決算 平成15年度予算 公開講座のお知らせ

研究内容紹介「ケース・メソッドと国際人的資源管理」
研究トピックス「食品衛生、BSEその後」

忙中「感」あり！

学 生 部 長 福 浦 幾 巳

日常の生活において、数年来心が
 けていることがある。それは本学にお
 世話になってからも続けていること
 であるが、北山の峠を越え、森林浴を
 しながら1時間ほどかかる温泉郷へ
 の週一回のお出かけである。その道す
 がらは、夫婦で家族の日常生活のこと
 を語る。たまには今後の社会がどのよ
 うに変化していくかを語ることもあ
 る。大学社会のこともちろん話題と
 なることもある。湯にはいつていると
 きは、ふだん余り頭を休めることのな
 い職業柄か、ボンヤリと何も考えずに
 湯につかっていることもあれば、原稿
 が気になればその構想を練ることも
 ある。四季の折々を感じながら思索に
 ふけるのもいいものである。春の草花
 の息吹、夏の青々とした緑葉、秋の紅
 葉、そしてときおり雪のちらつく冬の
 日の湯もいいものである。また、これ

が奥さんへの孝行となればさらに最
 高といえる。

さて、教育の聖職にある立場からか、
 湯につかりながら時折、ふと考えるこ
 とがある。それは、明日を担う若者は
 自分自身の将来をどのように考えて
 いるのだろうか。巷では福祉国家を
 縮小し、夜警国家的な小さな政府を目
 指すネオコン（新保守主義）の思想が
 叫ばれている。そうすると、優勝劣敗
 は今後ますます余儀なくされるだろ
 う。このような時代が来ようとしてい
 るにもかかわらず、現状に満足し、将
 来に目をそむけている若者が多いと
 感じるのは、私だけであろうか。また、
 この点は社会のいろいろなところに
 も当てはまるといえる。グローバルゼー
 ションの旗印のもとに、時価人事、時
 価会計の黒船の到来をいまだに気が
 つかないでいる人もいる。好むと好ま

ざるとも、時代の流れは加速度にこの
 ような潮流で進んでいることに目を
 背けてはならない。もつともこれらに
 気がついてもなかなかブレイクスルー
 できない人もいるだろう。その意味で
 は、多くの者の心はそれ相応の立場で
 漂流しているといえるのかも知れな
 い。21世紀は、「人間回復の時代」とも
 いわれるが、かかる言葉は、これらを
 うたったものといえるかも知れない。

ドッグイヤーといわれる昨今にお
 いて、このように人の心も目まぐるし
 く揺らいでいる。私はこのようとき
 こそ、一度立ち止まって考える「時間」
 が必要と思うのだが、読者はこれをど
 のように思われるだろうか。ともあれ
 湯につかりながらこのように考える
 昨今の私であるが、ひとえにこれも週
 一回の湯治のおかげであるといえる
 だろう。



中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌

CELERY

セロリ

2003
No.48

C O N T E N T S

リレーエッセイ 第11回 忙中「感」あり!	1
ハワイ大学リーワード校からの短期研修学生受け入れ	3
財団法人江頭外食産業及びホテル産業振興財団寄付講座 「ホスピタリティ論」の開講	4
平成14年度 決算	5
平成15年度 予算	7
研究内容紹介「ケース・メソッドと国際人的資源管理」	9
研究トピックス『食品衛生、BSEその後』	10
公開講座のお知らせ	11
図書館だより	12
イベント&ニュース	13
管理栄養士国家試験合格状況/山藤圭子教授が名誉教授に サークル紹介「バトン同好会」/GPA優秀者決定 研究助成・受託研究等採択状況/平成15年度 科学研究費補助金の交付決定 教職員の出版物/表彰のお知らせ/教職員の動き	

【今月の表紙】 大学売店前の七夕飾り



中村学園大学は2003(平成15)年4月1日付で、財団法人大学基準協会より大学基準に適合しているものと認められ、正会員として認定されました。

ハワイ大学リーワード校からの

短期研修学生受け入れ

短期大学部 食物栄養科主任 橋本 俊二郎

「日本文化のワークショップが楽しかった。私の祖先の文化を知ることが出来たからだ。」

「講義、ワークショップ、調理実習、どれもすばらしかった。」「アパートは最高！床に寝るのは慣れが必要、でも楽しい経験だった。」「大学での食事は、ふだん食べているものとはとても違っていた。研修に来て自分自身の食事の習慣が良くなっていると感じている。」

「本当の日本文化、伝統そしてすばらしい日本人。本当に日本は楽しかった。」「世界で一番、私達が楽しめるように100%気を配っていたと思う。皆さん本当にありがとう。」



糖尿病予防の食事に関する講義

等々、平成15年5月15日から2週間、今回初めて実現したハワイ大学リーワード校からの研修生の声である。

平成13年2月

本学短期大学部食物栄養科の学



福岡県矢部村での茶摘み体験

生を中心にハワイ大学リーワード校で短期研修を行なうてから、翌年には両校の間で交流協定が結ばれ毎年研修生を送り込んで来た。この間リーワード校から本学への研修が計画されたが、様々な事情で実現できず本年初めての研修が実現した。計画段階でのイラク戦争、また直前に中国に端を発した新型肺炎の影響などで実現が危ぶまれたが、両校スタッフの努力の結果によるものである。

本学での研修は、主として食物栄養科の教職員によるレクチャー（講義）および実習に加えて、

名誉教授楠、白木両先生による日本料理、お茶、生け花、書道等であった。また、中村調理師専門学校における実習のほか、学外での博多人形の絵付け、造り酒屋見学、矢部村でのお茶摘みおよび製茶、ふぐ料理、有田陶器工場見学などハードな日程であったが、研修生達はすべてに興味を持ち、熱心にそしてなにより楽しく取り組み、無事修了証を手にした。コーディネートいただいた山藤名誉教授、岩田先生をはじめ関係各方面の多くの方々のご指導、ご協力に感謝申し上げます。研修生達は、豊に布団そして日本食という初めての生活を積極的に楽しみ、本学学生との交流も活発にエンジョイし名残を惜しみながら帰国した。また、研修の後半には、リーワード校のマーク・シリマン学長も来学され、一部の研修とともに修了式に列席された。

今回の研修では、

途中で引率のシロマ先生の急逝というこの上ない悲劇に見舞われたが、研修生達はショックを内に秘め最後までプログラムを全うした。このことをシロマ先生にご報告して、ご冥福を心からお祈り申し上げます。



日本文化(華道)に関する実習

財団法人江頭外食産業及びホテル産業振興財団寄付講座 『ホスピタリティ論』の開講

流通科学部長 古川 公成

中村学園大学流通科学部は平成12年4月に従来の経営学教育を基盤としながらも流通経営・流通経済をより専門的に、より総合的に研究し教育する学部として開設されました。流通科学教育は経営学、経営科学、情報科学を融合させた教育目標と教育方法を採用しています。ビジネスの広域化・国際化、産業構造の急速な変革に伴う流通プロセスの変貌、経営業務の高度な情報化、そして流通のWEB化など、流通を取り巻く環境の劇的变化に対応できる即戦力となる人材を育成することが本学部の使命です。

毎日の仕事の推進に充実感を覚え、満足感を高めることの重要性を考え、その実践に挑戦しようとする教育です。この教育の重点科目のひとつが『ホスピタリティ論』です。



トーマスアンドチカライシ(株)
代表取締役 社長 力石 寛夫氏

『ホスピタリティ論』は流通のヒューマン・インターフェイスについて専門的な考察をすすめる科目です。本科目の開設に際しては、財団法人江頭外食産業及びホテル産業振興財団理事長 江頭匡一氏、ロイヤル株式会社創業者相談役(ご協力)を仰ぎました。同財団は、ホスピタリティの理論を構築する活動についても、ホスピタリティの実践を促進する活動においても優れた実績を重ねている組織として著名です。本学は同財団から長年にわたり研究助成ならびに奨学金給付の両面で多大なご支援を頂いてまいりました。

流通科学部の開設に際して同財団から中村学園大学への寄付講座として開設していただいたのが国内初の『ホスピタリティ論』です。この講座の授業計画とその実行の細部についても多大なご協力をいただきました。

業のどの側面においても、顧客に満足してもらえる商品・サービスの提供をめざす活動を推進しながら、同時に、流通のどの場面でも従業員一人ひとりが、



ロイヤル(株)顧問 稲田 直太氏

本講座の授業計画は、日本におけるホスピタ

リティの研究と実践の第一人者である力石寛夫氏(トーマスアンドチカライシ株式会社代表取締役社長)が中心となつて策定され講師陣の編成もしていただきました。

『ホスピタリティ論』の講師と授業内容は次のとおりです。

『ホスピタリティ論』講師・授業内容

- 力石 寛夫氏
トーマスアンドチカライシ(株)代表取締役社長
・ホスピタリティ概論①ホスピタリティの本質
・ホスピタリティ概論②欧米諸国と比較した日本のホスピタリティ産業の現状
- 森田 栄三氏
チカライシアンドカンパニー(株)代表取締役社長
・ホスピタリティ経営論①ホスピタリティ産業とビジネスモデル
・ホスピタリティ経営論②ホスピタリティ企業マネジメント
- 稲田 直太氏
ロイヤル(株)顧問
・産業別ホスピタリティ経営論 外食産業編
・外食産業の歴史と飛躍(ロイヤル)
・産業別ホスピタリティ経営論 外食産業編
・外食産業の今後とその課題(ロイヤル)
- 藤本 辰正氏
グランド・ハイアット・福岡(株)代表取締役社長
・産業別ホスピタリティ経営論 ホテル編
・ホスピタリティビジネスと人材について(グランド・ハイアット福岡)
- 神近 義邦氏
㈱エコー研究所特別顧問
・産業別ホスピタリティ経営論 レジャー産業編
・集客産業の10カ条とホスピタリティ(ハウスステンボス)
- 大塚 宣夫氏
青梅慶友病院理事長
・産業別ホスピタリティ経営論 福祉・医療産業編
・豊かな最晩年をつくるサービス業としての老人病院(青梅慶友病院)
- 高橋 弘明氏
元(株)日本航空 国際旅客事業本部CS推進部専任部長
・産業別ホスピタリティ経営論 航空産業編
・航空会社における人的サービス(ヒューマンサービス)
・信頼され愛されるエクセレントエアラインの条件(日本航空)
- 力石 寛夫氏
トーマスアンドチカライシ(株)代表取締役社長
・ホスピタリティ論 若い人材への期待

この他、流通小売業からもご出講いただきました。

学校法人中村学園
平成十四年度 決算

平成十四年度の決算は、去る五月二十六日の評議員会並びに理事会において承認されました。平成十四年度は、中期総合計画（平成十年度～平成十四年度）の最終年度であり学園各学校の帰属収支比率の目標達成に向けて管理経費の抑制に取り組みました。その決算の概要は次のとおりです。

収入の部では、前年度と比較すると学生生徒等納付金を改正した関係で増収になり、手数料収入においても入学検定料等で増収になりました。補助金収入は、大学・短期大学の経常費補助金の配点が減少となり減収、資産運用収入は低金利により減収しました。支出の部では、政策的な重点事項として大学流通科学部の就職対策、家政学部の新設転換による栄養科学部・人間発達学部開学記念式典、女子中学校一〇周年記念行事等に取り組み、管理経費は抑制しました。

「資金収支計算書」表一

予算額に対して決算額は、収入の部では、学生生徒等納付金収入一、〇〇〇万円、補助金収入一億三、六〇〇万円、資産売却収入は有価証券売却により

八億二、五〇〇万円、雑収入は退職者の増加により退職金財団交付金収入等で二、二〇〇万円、前受金収入は十六年度入学生数が増えたことにより五一〇〇万円上回り、資産運用収入が低金利等により二〇〇万円下回りました。支出の部では、人件費支出二、〇〇〇万円、教育研究経費支出六、九〇〇万円、施設関係支出では、土地取得費の関係で七、六〇〇万円下回りました。資産運用支出は有価証券購入により七億二、〇〇〇万円上回りました。施設設備関係支出の事業内訳は表三のとおりです。

資金収入の当年度合計は七億四、四〇〇万円で、資金支出の当年度合計は七億七、七〇〇万円となり、当年度の資金収支差額は三、二〇〇万円の支出超過となりました。これに前年度繰越支払資金七億一、一〇〇万円から差し引いた額が次年度繰越支払資金の七億七、九〇〇万円となります。

「消費収支計算書」表二

消費収入の部では、帰属収入合計の決算額は六億七、三〇〇万円で、これから基本金組入額（自己資金で取得した施設設備等）一億六、〇〇〇万円を控除した消費収入の部合計は一億九、二〇〇万円で消費支出に充当可能な収入となります。

消費支出の部合計は、五億七、二

表-2

平成14年度消費収支計算書

平成14年4月1日から平成15年3月31日

(単位/円)

消費収入の部				
科 目	予 算	決 算	差 異	
学生生徒等納付金収入	4,784,810,000	4,795,738,030	10,928,030	
手数料収入	169,610,000	171,925,870	2,315,870	
寄付金収入	27,540,000	48,343,527	20,803,527	
(現物寄付金)	(5,770,000)	(26,441,161)	(20,671,161)	
補助金収入	1,044,390,000	1,181,134,210	136,744,210	
資産運用収入	25,910,000	23,415,385	2,494,615	
資産売却収入	0	17,487,042	17,487,042	
雑業収入	232,050,000	246,704,182	14,654,182	
雑収入	246,170,000	268,867,552	22,697,552	
帰属収入合計	6,530,480,000	6,753,615,798	223,135,798	
基本金組入額合計	1,654,300,000	1,560,684,302	93,615,698	
消費収入の部合計	4,876,180,000	5,192,931,496	316,751,496	

(単位/円)

消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	3,781,660,000	3,762,524,474	19,135,526
(退職給与引当金繰入額)	(149,740,000)	(146,361,265)	(3,378,735)
教育研究経費	1,515,400,000	1,444,944,552	70,455,448
(減価償却額)	(549,320,000)	(548,080,739)	(1,239,261)
管理経費	521,180,000	504,100,258	17,079,742
(減価償却額)	(81,110,000)	(81,052,389)	(57,611)
借入金等利息	14,800,000	14,787,390	12,610
資産処分差額	20,210,000	26,076,791	5,866,791
(1,550,000)			
[予備費]	16,350,000		16,350,000
消費支出の部合計	5,869,600,000	5,752,433,465	117,166,535
当年度消費支出超過額	993,420,000	559,501,969	
前年度繰越消費支出超過額	281,510,000	281,509,128	
翌年度繰越消費支出超過額	1,274,930,000	841,011,097	

表-1

平成14年度資金収支計算書

平成14年4月1日から平成15年3月31日

(単位/円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	4,784,810,000	4,795,738,030	10,928,030
手数料収入	169,610,000	171,925,870	2,315,870
寄付金収入	21,770,000	21,902,366	132,366
補助金収入	1,044,390,000	1,181,134,210	136,744,210
資産運用収入	25,910,000	23,415,385	2,494,615
資産売却収入	0	825,957,259	825,957,259
雑業収入	232,050,000	246,704,182	14,654,182
雑収入	246,170,000	268,867,552	22,697,552
前受金収入	1,118,610,000	1,169,950,800	51,340,800
その他の収入	229,580,000	229,388,318	191,682
資金収入調整勘定	1,370,720,000	1,390,032,090	19,312,090
前年度繰越支払資金	7,311,700,000	7,311,722,682	22,682
収入の部合計	13,813,880,000	14,856,674,564	1,042,794,564

(単位/円)

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	3,803,590,000	3,783,206,409	20,383,591
教育研究経費支出	966,080,000	896,863,813	69,216,187
管理経費支出	440,070,000	423,047,869	17,022,131
借入金等利息支出	14,800,000	14,787,390	12,610
借入金等返済支出	42,210,000	42,210,000	0
施設関係支出	1,335,140,000	1,258,882,540	76,257,460
設備関係支出	168,190,000	151,289,461	16,900,539
資産運用支出	235,710,000	956,644,473	720,934,473
その他の支出	321,900,000	341,787,177	19,887,177
(60,000)			
[予備費]	17,840,000		17,840,000
資金支出調整勘定	272,490,000	291,599,863	19,109,863
次年度繰越支払資金	6,740,840,000	7,279,555,295	538,715,295
支出の部合計	13,813,880,000	14,856,674,564	1,042,794,564

表 - 4

貸借対照表

平成15年3月31日

(単位/円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増減 ()
固 定 資 産	22,515,135,784	21,979,992,341	535,143,443
有 形 固 定 資 産	20,852,803,934	20,065,509,871	787,294,063
土 地	7,936,347,861	7,529,332,236	407,015,625
建 物	10,310,543,364	9,873,406,531	437,136,833
構 築 物	560,591,787	556,104,291	4,487,496
教育研究用機器備品	689,494,974	667,087,790	22,407,184
その他の機器備品	82,761,525	95,402,302	12,640,777
図 書	1,264,327,104	1,228,795,417	35,531,687
車 輦	8,737,319	14,281,304	5,543,985
建 設 仮 勘 定	0	101,100,000	101,100,000
そ の 他 の 固 定 資 産	1,662,331,850	1,914,482,470	252,150,620
電 話 加 入 権	2,879,644	2,879,644	0
有 価 証 券	722,223,673	1,207,222,547	484,998,874
保 険 資 産	103,727,139	101,711,539	2,015,600
収 益 事 業 入 金	20,000,000	20,000,000	0
出 資 金	37,666,140	36,420,640	1,245,500
長 期 積 立 金	440,100	440,100	0
敷	1,600,000	1,600,000	0
女子中高校舎改築引当特定資産	400,000,000	200,000,000	200,000,000
第3号基本金引当資産	373,795,154	344,208,000	29,587,154
流 動 資 産	8,416,316,412	8,052,547,816	363,768,596
現 金 ・ 預 金	7,279,555,295	7,311,722,682	32,167,387
有 価 証 券	610,508,805	210,183,929	400,324,876
特 定 金 銭 信 託	294,109,180	300,000,000	5,890,820
未 収 入 金	230,007,590	229,388,318	619,272
未 払 金	1,800,397	988,217	812,180
前 払 金	335,145	264,670	70,475
資 産 の 部 合 計	30,931,452,196	30,032,540,157	898,912,039

負 債 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増減 ()
固 定 負 債	1,947,093,444	2,009,985,379	62,891,935
長 期 借 入 金	513,770,000	555,980,000	42,210,000
退職給与引当金	1,433,323,444	1,454,005,379	20,681,935
流 動 負 債	1,667,525,707	1,706,904,066	39,378,359
短 期 借 入 金	42,210,000	42,210,000	0
未 払 金	291,335,193	321,535,866	30,200,673
未 受 金	1,169,950,800	1,160,024,500	9,926,300
預 り 金	163,026,164	181,993,192	18,967,028
仮 受 金	1,003,550	1,140,508	136,958
負 債 の 部 合 計	3,614,619,151	3,716,889,445	102,270,294

基 本 金 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増減 ()
第 1 号 基 本 金	26,974,048,988	25,642,951,840	1,331,097,148
第 2 号 基 本 金	400,000,000	200,000,000	200,000,000
第 3 号 基 本 金	373,795,154	344,208,000	29,587,154
第 4 号 基 本 金	410,000,000	410,000,000	0
基 本 金 の 部 合 計	28,157,844,142	26,597,159,840	1,560,684,302

消 費 収 支 差 額 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増減 ()
翌年度繰越消費支出超過額	841,011,097	281,509,128	559,501,969
消費収支差額の部 合計	841,011,097	281,509,128	559,501,969

科 目	本年度末	前年度末	増減 ()
負債の部、基本金の部 消費収支差額の部 合計	30,931,452,196	30,032,540,157	898,912,039

注記 1. 減価償却額の累計額の合計額 6,754,779,521円
2. 徴収不能引当金の合計額 0円
3. 担保に供されている資産の種類及び額は、次のとおりである。
土 地 1,046,223,594円
建 物 319,080,328円
計 1,365,303,922円
4. 退職給与引当金の算出方法は、次のとおりである。
法人本部・大学・短期大学部は期末要支給額1,200,989,000円から私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入調整額を加減した金額を計上している。
高等学校以下は、期末要支給額997,498,000円から私学退職金団体よりの交付金相当額を控除した金額を計上している。
5. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる額 555,980,000円

「貸借対照表」表4
本年度末の資産総額は、三〇九億三、一〇〇万円で土地・建物・女子中高校舎改築引当特定資産等が増加し、前年度末と比較して八億九、九〇〇万円（三・〇％）増えました。
〇〇万円となり消費収入の部合計から差し引くと五億五、九〇〇万円の消費支出超過額となり、これに前年度繰越消費支出超過額を加えると翌年度への繰越消費支出超過額は八億四、一〇〇万円となります。

負債総額は三六億一、四〇〇万円で借入金償還等で一億二〇〇万円（二・七％）減少しました。資産総額から負債総額を差し引いた純資産額は二七億一、七〇〇万円で前年度より一〇億一〇〇万円（三・八％）増えました。
以上が平成十四年度における本学園の決算概要です。少子化が進行する中でさらに経済情勢も厳しくなっています。このような社会環境において教育研究を向上させる為にも財政基盤の充実を図る必要があります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

表 - 3 平成14年度 主な施設設備の事業

区 分	事 業 内 容
大学院・大学・短期大学部	隣地取得(パーソナルハウス)
	第2 体育館新築工事
	中央本館・南館実験実習室改修工事 (年次計画)
	東館トイレ改修工事
	臨床栄養実験実習室へ改造工事
	図書館入館システム取替工事
	中央本館・南館実験実習台
	画像解析装置
	酸化窒素分析システム
	流通科学部 パソコン追加導入(リース)
女子中学校・高等学校	情報処理センター パソコン更新
	家政経済科 パソコン更新
	体育館屋上防水工事
	講堂ステージ床張替工事
	カウンセリング室等空調設備取替工事
三陽中学校・高等学校	電話交換機器設備取替工事
	パソコン付属設備購入
	浄化槽関係整備工事
	中水槽湧き水取り込み工事
	トイレ給水配管取替工事
	視聴覚室・液晶プロジェクター更新

学校法人中村学園

平成15年度 予算

平成15年度の予算は、去る三月十二日の評議員会及び十九日の理事会において承認されました。平成15年度予算編成については、中期総合計画（平成15年度～平成19年度）の基本方針を基に教育及び研究の充実に、学生・生徒等の確保等を重点に置き、各学校の計画最終年度の財務数値目標達成に向けた、初年度の計画として編成を行いました。私立学校を取り巻く環境は益々厳しくなっています。大学受験年齢で見ると平成15年度は一四六万人が、今後平成二十一年度には一二二万人まで減少していきます。このような環境の中で本学園の各学校の収支予算の概要は次のとおりです。

「大学院・大学・短期大学部」

収入の部では、流通科学部の完成年度を迎え、家政学部が栄養科学部と人間発達学部へ改組転換して二年目になることで学生数が増加し、学生納付金収入が前年度と比較し増収となります。事業収入で受託事業収入が減収、雑収入で退職金財団交付金収入が退職者数の関係で減収になります。

支出の部では、人件費支出で退職金

が減少します。教育研究経費支出で流通科学部に新たにパソコン一三二台導入、図書館システムの更新、大学で特別奨学生を各学部へ拡大、短期大学部に特別修学援助金制度の創設、流通科学部第一回の卒業生等の就職支援費を計上しました。管理経費支出では学生募集の強化に伴う費用を計上し、その他については費用の抑制を図りました。施設設備関係支出（表3）では、給食管理実習室改修工事、栄養教育実習室の設置、西四号館4304Rパソコン教室へ改修工事及びそれに伴う設備の充実、第二体育館のトレーニング機器の購入等を計上し、学生サービス推進と教育研究の環境を整備します。

「女子中学校・女子高等学校」

収入の部では、生徒数の減少により納付金収入、補助金収入の減収及び前受金の減収を見込み計上しました。

支出の部では、教育研究経費支出で英語科教員の短期海外研修及び海外姉妹校締結視察費用、育英奨学生の奨学金、一日総合大学費用を計上しました。管理経費支出は、生徒募集強化費、講演費等を計上し、その他については費用の抑制を図りました。施設設備関係支出（表3）では、パソコン購入、液晶プロジェクターの更新、図書室のシステム更新等教育機器の充実を図ります。

「三陽中学校・三陽高等学校」

収入の部では、入学者の増加により納付金収入の増収また、前受金収入の増収を見込み計上しました。補助金収入

雑収入で減収となります。

支出の部では、教育研究経費支出で育英奨学金の人数増や教育改革実践校視察、中学校のホームステイ引率費等を計上しました。管理経費支出は、生徒

平成15年度資金収支予算書

平成15年4月1日から平成16年3月31日まで

(単位/千円)

収 入 の 部			
科 目	15年度予算額	前年度予算額	増減()
学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	4,871,940	4,784,810	87,130
手 数 料 収 入	160,510	169,610	9,100
寄 付 金 収 入	10,650	21,770	11,120
補 助 金 収 入	1,019,500	1,044,390	24,890
資 産 運 用 収 入	27,460	25,910	1,550
事 業 収 入	200,840	232,050	31,210
雑 収 入	87,900	219,010	131,110
前 受 金 収 入	1,097,360	1,118,610	21,250
そ の 他 の 収 入	183,800	229,580	45,780
資 金 収 入 調 整 勘 定	1,134,580	1,343,560	208,980
前 年 度 繰 越 支 払 資 金	6,740,840	7,311,700	570,860
収 入 の 部 合 計	13,266,220	13,813,880	547,660

(単位/千円)

支 出 の 部			
科 目	15年度予算額	前年度予算額	増減()
人 件 費 支 出	3,678,760	3,775,740	96,980
教 育 研 究 経 費 支 出	974,090	966,080	8,010
管 理 経 費 支 出	844,350	440,030	404,320
借 入 金 等 利 息 支 出	13,600	14,800	1,200
借 入 金 等 返 済 支 出	42,210	42,210	0
施 設 開 係 支 出	315,030	1,335,140	1,020,110
設 備 開 係 支 出	154,290	168,170	13,880
資 産 運 用 支 出	226,220	235,710	9,490
そ の 他 の 支 出	243,580	321,900	78,320
予 備 費 ()	17,900	17,900	0
資 金 支 出 調 整 勘 定	119,000	244,640	125,640
次 年 度 繰 越 支 払 資 金	6,875,190	6,740,840	134,350
支 出 の 部 合 計	13,266,220	13,813,880	547,660

募集強化費等を計上し、その他については費用の抑制を図りました。施設設備関係(表13)では、情報処理教育の充実にコンピュータ機器の更新、図書室システムの更新及び生徒の通学の利便性を図るため、スクールバスの購入等で教育環境整備の充実を図ります。

「資金収支予算」(表1)

収入の部では、前年度予算と比較して、学生生徒等納付金収入で八、七〇〇万円(一・八%)の増となり、雑収入で退職金財団交付金収入等が一億三、一〇〇万円の減収になります。当年度の収入合計は二、三〇〇万円増となり、これに前年度繰越支払資金六七億四、〇〇〇万円を加え、収入の部合計は一三二億六、六〇〇万円となり、前年度と比較して五億四、七〇〇万円の減収となります。

支出の部では、人件費で退職金の関係で前年度より九、六〇〇万円減、教育研究経費はほぼ横ばいとなっています。管理経費は、大学人間発達学部及び短期大学部幼児教育科の教育研究の実践の場として、また学生の実習先として保育園開設に向けた社会福祉法人設立に寄付金を計上しました。施設設備関係では、(表13)のとおり、より一層充実に図ります。

当年度支出合計は六三億九、一〇〇万円、前年度と比較して六億八、二〇〇

〇万円の減となります。次年度繰越支払資金は六八億七、五〇〇万円、前年度より一億三、四〇〇万円の増となります。

「消費収支予算」(表2)

消費収入の部では、帰属収入合計が六三億八、二〇〇万円、前年度と比較して一億二、〇〇〇万円の減収見込みとなります。これに基本金組入額六億九、四〇〇万円を控除した五六億八、七〇〇万円が消費支出に充当可能な収入です。

消費支出の部は、人件費で退職金及び退職給与引当金繰入額の関係で二、三〇〇万円減少、教育研究経費では施設設備関係の減価償却額が五、九〇〇万円増加しました。消費支出の部合計は六二億六、八〇〇万円となり、前年度より四億二、六〇〇万円増加し、当年度支出超過額は五億八、一〇〇万円となります。これに前年度からの繰越消費支出超過額一、二億七、四〇〇万円を加え、翌年度繰越消費支出超過額は一八億五、六〇〇万円となります。

以上が、平成十五年度の予算概要ですが、ますます学生生徒等の確保が厳しくなる中での、財政基盤の安定を図るために予算執行に当たっては適正且つ厳正に努めてまいります。

表-3 平成15年度 主な施設設備の事業

区分	事業内容
大学院・短期大学部	給食経営管理実習室改修工事
	栄養教育実習室設置
	中央本館トイレ改修工事
	西4号館4304Rを
	パソコン教室へ改修工事
	グラウンド防球ネット・
	バックネット設置工事
	図書館システム機器更新
	第2体育館 トレーニング機器購入
	糖類分析システム購入
女子中学校高等学校	保育実習室 機器更新
	流通科学部
三陽中学校高等学校	パソコン追加導入(リース)
	情報室 パソコン追加購入
	視聴覚室 液晶プロジェクター更新
	図書室システム機器更新
	スクールバス買替
	生徒昇降口屋上防水工事
三陽中学校高等学校	第1コンピュータ室
	パソコン機器更新
	図書室システム機器更新
	スクールバス購入

表-2 平成15年度消費収支予算書
平成15年4月1日から平成16年3月31日まで

消費収入の部			
科目	15年度予算額	前年度予算額	増減()
学生生徒等納付金	4,871,940	4,784,810	87,130
手数料	160,510	169,610	9,100
寄附金	14,190	27,540	13,350
補償金	1,019,500	1,044,390	24,890
資産運用収入	27,460	25,910	1,550
事業収入	200,840	232,050	31,210
雑収入	87,900	219,010	131,110
帰属収入合計	6,382,340	6,503,320	120,980
基本金組入額合計	694,880	1,654,300	959,420
消費収入の部合計	5,687,460	4,849,020	838,440

消費支出の部			
科目	15年度予算額	前年度予算額	増減()
人件費	3,729,780	3,753,120	23,340
(退職給与引当金繰入額)	(91,380)	(147,950)	(56,570)
教育研究経費	1,574,400	1,515,400	59,000
(減価償却額)	(600,310)	(549,320)	(50,990)
管理経費	924,770	521,010	403,760
(減価償却額)	(80,420)	(80,980)	(560)
借入金等利息	13,600	14,800	1,200
資産処分差額	8,310	20,210	11,900
(予備費)	17,900	17,900	0
消費支出の部合計	6,268,760	5,842,440	426,320
当年度消費支出超過額	581,300	993,420	
前年度繰越消費支出超過額	1,274,930	281,510	
翌年度繰越消費支出超過額	1,856,230	1,274,930	

「ケース・メソッドと国際人的資源管理」

大学 学長補佐(流通科学部教授) 石田英夫

私は日本のビジネス・スクールの草分けともいえるべき慶應義塾大学ビジネス・スクールの創立以来勤務し、社会人大学院生や経営者・管理者相手の経営教育に永年従事してきた。留学先はアメリカの大学院の経営教育でケース・メソッドという教育法を創始したハーバード・ビジネス・スクールである。平成16年4月から流通科学部に大学院修士課程を設置する(設置認可申請中)ことになり、社会人相手の教育にきわめて有効なケース・メソッドを活用できそうだと張り切っている。今春九州大学にビジネス・スクールができたが、その教員たちにも呼びかけて「ケース・メソッド研究会」を発足させた。他の大学や中村学園の他学部の人も参加して月1回開催している。わが流通科学部にはケース討論のための立派な教室が設置されている。「研究」ではなく「教育」の話から始めたが、ケース・メソッドは教育法だけではなく、経営学の有力な研究方法でもあり、私の研究の多くは事例研究に立脚したものである。

私の専門領域として経営学のなかの、人事労務管理と呼ばれ、最近では人的資源管理という分野の研究をしてきたが、研究歴の半ば頃から国際経営の領域に入ってしまった。一番の関心事といえば国際経営における人的資源管理の問題—国際人的資源管理ということになるのか。このテーマでは『日本企業の国際人事管理』(日本労働研究機構)、『国際経営とホワイトカラー』(中央経済社)という本を書いた。

この分野の「異文化経営」という授業を担当していたが、授業に用いる教材(ケース)開発にも力を入れた。ケースを本にして解説をつけたものを「ケースブック」と呼ぶが、『ケースブック・国際経営の人間問題』(慶應義塾大学出版会)という本には16のケースが収められている。日本企業は外国に進出した場合にも、工場労働者の管理では成功を収めているが、ホワイトカラー・

プロフェッショナル・管理者といった上級人材のマネジメントでは、はっきり言って失敗している。最近10年間、私がいちばん力を入れたのは「研究者の創造性を高めるためにはどのような人的資源管理を行えばよいか」という研究課題である。10人くらいの共同研究で、わが民間企業の研究者のアンケート調査に始まって、インド・韓国・台湾というアジア地域の研究者、イギリス、フランス、ドイツ、アメリカという欧米の研究者との国際比較調査に手を広げていった。その結果を紹介するスペースはないが、昨年ようやくこの研究の成果をまとめて『研究開発人材のマネジメント』(慶應義塾大学出版会)という本を出版した。

福岡に来てから手がけたテーマとしては「起業家とベンチャー成長の調査研究」がある。流通科学部の教員10名で始め、いま2年目に入っている。起業家活動の国際比較調査が国際的な研究組織によって毎年実施されるようになった(Global Entrepreneurship Monitor)が、日本はすべての面において世界中で最も立ち遅れている。日本経済の再生のために起業活動の活発化は不可欠である。そのためには起業支援策の整備もさることながら、起業家に敬意を払う社会的価値観、起業に失敗した挑戦者にも拍手を送るような社会経済風土が求められる。それには子供の時から教育内容の刷新が必要であることもわかってきた。共同研究の成果は学部の紀要『流通科学研究』に近く発表される予定である。



■プロフィール

慶應義塾大学経済学部卒業 経済学博士。専門は経営学(人的資源管理、国際経営論)。ハーバード大学経営大学院国際教員プログラム修了。慶應義塾大学大学院経営管理研究科(ビジネス・スクール)教授、東京理科大学経営学部教授を経て現職。慶應義塾大学名誉教授、国際ビジネス研究学会常任理事、日本労務学会理事。

「食品衛生、BSEその後」

短期大学部 食物栄養科 教授 小田 隆 弘

一昨年に大騒ぎとなったBSE問題はまだ記憶に新しいと思います。わが国で初めてのBSE牛の発見に続き、2頭目、3頭目の発見が報道されてからは牛肉の売れ行きが落ちたり、焼き肉料理店が大打撃を受けるなど、パニックにも近い食肉不安となり大きな社会問題となりました。このBSE問題を契機として、国産在庫牛肉の買い上げ制度を悪用した食肉の産地偽装事件や、肉まんなどへの不許可添加物の使用発覚、国産青果物への農薬の不正使用、輸入野菜からの残留農薬の高濃度検出など、次から次へと消費者の不安と不信を増大させる食品衛生・安全問題が見つかり、この2,3年ほど、消費者の食品不安が高まった時期はないかもしれません。ごく最近では、ある種の魚種の水銀含有量が高いため、厚生労働省が妊婦への摂取量勧告をしたところ、魚の売れ行きが落ちるという現象がおこっています。

言うまでもなく、食品というのば「おいしい」とが「安い」とが「栄養がある」とかも大事ですが、何よりも「安全で衛生的である」ことが大前提です。ところが、この「安全で衛生的」というのだけは、消費者が正確には確認できない食品の特殊性状と言えるのです。「おいしい」とが「安い」とが「栄養がある」とかは消費者がかなり正確に知ることができません。したがって、消費者は製造メーカーや販売店を信用して食品を選んでいる訳です。なのにその食品企業が嘘をついていたとか、ゴマカシていたとなると消費者が怒るのも当然だし、会社が潰れるのも当たり前でしょう。食品製造業者や流通業者はもう一度、その原点に帰って消費者の信用回復と不安の払拭に全力を挙げるべきです。

一方、BSE騒動や最近の魚の水銀問題にしても、消費者側の過剰な反応は問題です。BSEについては、英国では最初にBSE牛が発見された1986年から2001年までの間になんと！70万頭近いBSE牛が喫食された結果、約1,300人のCJ病 異常プリオンの摂取によってヒトの脳がスポンジ状になる病気でクロイツ

フェルト・ヤコブ病と呼ばれる患者が発生しています。英国に次いでBSEの高汚染国であるベルギーなどのEU諸国では4千頭のBSE牛が喫食されていますがCJ患者は4人(WHO報告)に過ぎません。わが国で見つかったBSE牛は数頭(2002年6月現在7頭)で喫食された可能性があるBSE牛は確認されていません。したがって、わが国でBSE牛によってヒトにCJ病が発生する確率はいかに低いかお分かり頂けると思います。それに、英国やEU諸国ではBSE牛の危険部位である脳や脊髄も食べますが日本人は脳や脊髄はほとんど食べませんから、感染の可能性はもっと低いはずです。

最近の魚の水銀問題にしても、胎児への水銀の影響を懸念しての「妊婦への勧告」であり、妊婦以外の人が何ら心配することはないのですが、一般の人までもが神経質に反応してしまうのは考えものです。＜ある種の魚に水銀含量が高い(科学的事実)＞ → ＜妊婦への摂食勧告(情報公開)＞ → ＜センセーショナルな報道＞ → ＜消費者の過剰な反応＞ → ＜魚の売れ行きダウン＞ → ＜生産者の情報公開への反発＞ → ＜行政の情報隠し＞ という流れになり、今後は「混乱を起こさないため」このような発表はしないということになっていきます。このようなことは決して望ましいことではありません。従って、マスコミの責任も大きいのですが、消費者も事実を冷静に判断することが大切です。特に、食に関するプロである栄養士はリスクを正確に理解する判断力と知識を持ち消費者に説明できることが大切です。本校では食品の安全性評価のための研究とあわせてはこのような能力を備えた栄養士を育てるための教育に特に力を注いでいます。



■プロフィール

九州大学農学部農芸化学科卒業後、農林水産省茶業研究所研究員、福岡市保健環境研究所研究員、福岡市中央保健所食品衛生監視員等を経て現職へ。農学博士。食中毒細菌、フグ毒、残留農薬等の研究や現在は主にHACCPなどの食品衛生管理に関する研究を実施。福岡市O157集団発生対策委員会委員、日本食品微生物学会評議員、食品衛生学会査読委員ほか

公開講座のお知らせ

今年で30回目を数える、中村学園大学・中村学園大学短期大学部主催の公開講座を下記のとおり開催いたします。今回は、3コース・6つの講座を準備いたしました。それぞれ、ユニークな教育と研究にあたっております本学の特徴を十分に発揮した講座となっています。ふるってご参加下さい。

申込方法

- お申込は、「官製はがき」または「Eメール」にて、郵便番号、住所、氏名、性別、年齢、職業、電話番号、受講希望コースを明記のうえ、
8月18日(月)～9月5日(金)の期間にお願いいたします。
電話、FAXでの申込受付はいたしていません。
- 受講された方には、開催日ごとに受講証書を発行いたします。
- 受講料ならびにテキスト代は無料です。
- 託児所はありません。
- 開催日ごとに会場が異なりますので、ご注意ください。
- 定員になり次第、締め切らせていただきます。
定員に余裕があれば、当日でも受付いたします。

申込・問い合わせ先

〒814-0198 福岡市城南区別府5丁目7番1号 中村学園大学・中村学園大学短期大学部 庶務課「公開講座」係
TEL:(092)851-2559 Eメール:koukai@nakamura-u.ac.jp
ホームページ: <http://www.nakamura-u.ac.jp/> (トップページの中で「公開講座」をクリックして下さい)

プログラム

Aコース

9月20日(土)
生活習慣病の予防
—大腸がん—

定員:120名

13:00～13:10 場所:東1号館3階304講義室

開講式

大学側挨拶:学長 藤本 淳

13:10～14:30 場所:東1号館3階304講義室

「生活習慣と大腸がん予防」

九州大学大学院医学研究院予防医学分野 教授
古野 純典(がんの疫学)

休憩(10分)

14:40～16:00 場所:中央南館1階109実習室

「大腸がん予防の食事」

教授 城田 知子(栄養指導・栄養教育・栄養学実習)

Bコース

10月18日(土)
アメリカとイギリスの
社会事象から

定員:200名

13:00～14:20 場所:西1号館10階・大講義室

「ジミー・カーター元米国大統領
—ノーベル平和賞受賞の背景と
その原点—」

教授 飼牛 万里(国際コミュニケーション論)

休憩(10分)

14:30～15:50 場所:西1号館10階・大講義室

「イギリス三都物語—ロンドン、
バーミンガムそしてオックスフォード—」

助教授 中谷 安男(応用言語学)

Cコース

10月25日(土)
現代の子育てを考える
—幼児虐待の問題を通して—

定員:200名

13:00～14:30 場所:西1号館10階・大講義室

基調講演

「現代の子育てを考える
～幼児虐待の現場からみえてくること」
福岡市こども総合相談センター 総合相談課長 松崎 佳子
(臨床心理学・児童福祉)

休憩(15分)

14:45～16:00 場所:西1号館10階・大講義室

話題提供 1「教育相談の現場から」
講師 山崎 篤(臨床心理学)

話題提供 2「保育の現場から」
助教授 笠原 正洋(発達心理学)

討論

16:00～16:10 場所:西1号館10階・大講義室

閉講式

大学側挨拶:公開講座委員長 山崎 篤

学園祖資料室に足を運んでみませんか？



ハル先生愛用の机・白衣など

図書館4階階段上がってすぐ左手が学園祖資料室です。
学園祖中村ハル先生がかつて愛用されていた品々や、勲位、勲章、ハル先生の伝記が掲載されている小学校教科書などが常時展示されています。
毎年5月の1ヶ月間は、学園創立記念行事に伴い、『永遠の青空ハル先生』のビデオ上映を行っています。

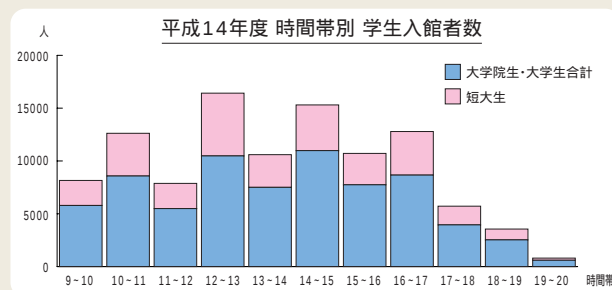
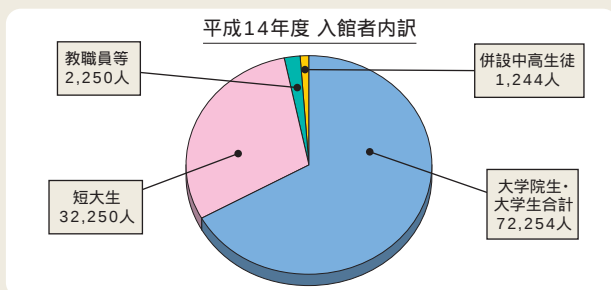


ハル先生愛用の筆・硯など

平成14年度 図書館利用状況について

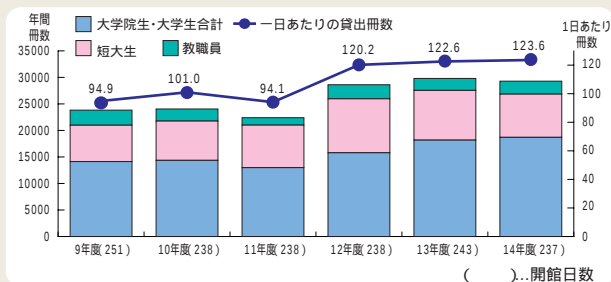
平成14年度入館者数

平成14年度の入館者の内訳は円グラフが示すとおり、学生の利用が圧倒的に多く、開館時間中ほとんど絶えることなく利用があります。夕方からは、併設中学校・高校である「中村学園女子中学・高校」「中村学園三陽中学・高校」生徒の利用が比較的多くなっています。
なお、今年度4月から、両併設校生徒への本学図書館の貸出を行うようになりました。



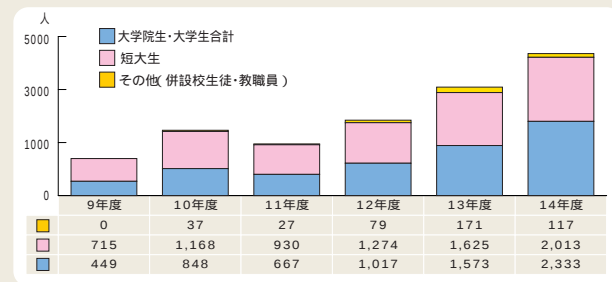
貸出冊数推移

平成14年度は、新図書館システム導入作業等のため、開館日数が若干減りましたが、1日あたりの貸出冊数はほぼ昨年並みとなりました。



AVコーナー利用者推移

AVコーナーの利用者数は年々増加し、平成14年度は平成9年度の約4倍となっています。映像資料ではDVDの利用が急増しています。今年度はモニターをデジタル対応機種に入れ替えました。将来的には、AVブースの増設を目指しています。



広くて静かなスペースで集中してみませんか？

図書館開放のお知らせ

開放期間 8月1日(金)～8月30日(土)
休館日: 日曜日、第2・3・4土曜日、
8月11日(月)～15日(金)

開館時間 月～金 9:30～17:00
第1土 9:30～16:00

・生徒手帳持参
駐輪場、喫茶室(食堂)あり
TEL:092-851-2573
<http://www.nakamura-u.ac.jp>

新着情報

Encyclopedia of Food and Culture(全3巻)
Thomson出版社

野菜、穀物、果実、肉、魚など食物の百科事典です。キャベツの品種や起源、文化、生態学がわかります。写真やカット絵が載っている、学生にも研究者にも役立つ事典です。



生きてこそ:ALIVE(DVD)
フランク・マーシャル監督

衝撃と感動を呼ぶ、本当にあった話。1972年ウルグアイのラグビーチームを乗せた旅客機が雪に覆われたアンデス山脈に墜落した。33名の生存者は救助を待つが...



GPA優秀者決定

平成14年度のGPA(グレイド・ポイント・アベレージ)優秀者が決定した。5月15日の学園創立記念式典で、大学38名、短期大学部12名に、表彰状と記念品が授与された。優秀者は次の通り。

大学 栄養学部 栄養科学科

2年 菅 香織、中野 宏美、篠崎 明日香、蒲池 美幸

大学 家政学部 食物栄養学科

3年 前田 真希、永崎 まち子、桃北 吉恵

4年 甲木 英友、稗田 早紀、鳥實 泰江、堤 由起子、緒方 彩乃

大学 人間発達学部 人間発達学科

2年 森廣 佳寿子、水上 尚子、石本 明子、森清 亜弓、波多野 友美

大学 家政学部 児童学科

3年 鳥田 裕美、中村 麻衣、松本 愛、藤田 麻伊、梅崎 桂子

4年 浜田 知佳、行部 恵、田中 亜矢、田中 裕子

大学 流通科学部 流通科学科

2年 庄 楊珏、小路 裕子、鏑 優子、西田 奈央

3年 佐藤 一奈、小野 瑛子、財津 亜希子、門司 智重子

4年 鶴 朋子、伊藤 美奈子、竹本 恵美、伊藤 彩

短期大学部 食物栄養科

2年 畠中 由香、武嶋 佑衣、塩足 由紀子、猿渡 紘子

短期大学部 家政経済科

2年 盛永 恵、宮原 麻美、横谷 里沙、志手 香織

短期大学部 幼児教育科

2年 山本 飛鳥、岩村 友美、土橋 恵理、尾崎 裕子

GPAとは？・・・本学は、学生の学業成績にGP(グレイド・ポイント)制を導入している。学生の成績は、優・良・可・不可として評価されるが、この評価を優(特優4点・優3点)・良2点・可1点・可不及失格0点に点数化してGPとし、履修登録科目のGPにそれぞれの科目の単位数を乗じた値の合計を、全履修登録科目の合計単位数で除してGPA(グレイド・ポイント・アベレージ)を算出する。この数値で、1単位当たりどれだけ高い学習効果をあげたかが評価できる。

研究助成・受託研究等採択状況

社団法人日本栄養士会栄養指導研究所 平成15年度栄養指導等に関する研究助成

幼児期からのよい食習慣づくりをめざした食育モデルの検討

～クッキング保育と朝食喫食習慣の定着への取り組み～

研究者 林 辰美 助教授(大学 栄養科学部)
共同研究者 伊東 るみ 助手(大学 栄養科学部)
交付金額/400,000円



林 辰美 助教授

幼児期の健康的な食習慣の形成は、運動習慣、むし歯の予防などとともに生活習慣病の一次予防の施策であり、この時期の食育の課題として最重要視されている。本研究は幼児の発育発達状況に適応した効果的な食育の展開方法について、幼児(3～6歳)を対象に、クッキング(保育)と遊びながら体験できる栄養教育メディアを活用して、幼児期の望ましい食生活の習慣化を行動変容過程から観察研究し、発育発達段階に対応した食育モデルの検討を目的としている。(なお、本学出身の福岡市行政栄養士が、学外共同研究者として加わり研究を推進していく。)

管理栄養士国家試験合格状況

平成15年度第17回管理栄養士国家試験は、本学では89名(管理栄養士専攻79名、食物栄養学専攻10名)の合格者を出した。全国の合格率は19.8%である。昨年までは異なり、養成校全体の合格者数は減少して、合格率は昨年では85%であったが、今年は約60%である。今後もこの傾向が続くと見られ、また受験者数も増える傾向にあるが、本学では十分な対策を立て、国家試験対策に取り組んでいる。

山藤圭子教授が名誉教授に



今年3月末に退職された、山藤圭子教授に対して、中村学園大学名誉教授の称号が授与されることとなり、6月19日に名誉教授の称号記授与式が行われた。

これは、山藤教授の本学教授としての、長年にわたる教育・学術上の功績に対して授与されるものである。

サークル紹介

バトン同好会

私たちバトン同好会は、結成して今年で3年目を迎えました。中村学園女子高校で、バトン部だった私たちが、まだバトンを楽しみたいと思って作ったサークルですが、中村出身ではないけれどもバトンが好きで入部した人、全くの未経験だけれどもバトンがしたいと入部した人などを含め、現在17名で楽しく活動しています。

主な活動としては、週2回の練習と出演です。昨年、一昨年は、毎年秋に行われる全九州バトンフェスティバルで金賞をいただきました。今年はどんたくパレードにも初の試みで参加してきました。また、9月に行われるマーチング・フェスティバルにも出演を予定しています。

私たちのモットーは「楽しく踊る」です。勝つこと、賞をとることよりも「楽しく」を基本にしているので、出演先も部員全員で決めています。高校生時代は、先生方に決めていただいた大会出演に向けてやみくもに頑張っていたのですが、現在は自分たちで考え、責任をもって踊らなければなりません。これまでと違った苦労を体験しながら、先生方、バトンの関係者の方への感謝の心が深まり、また新たに別の楽しみが生まれました。

曲、振り子を自分たちで決めて考え、衣装も手作りし、大変なことも多いのですが、これからも楽しく活動していきたいと思っています。また、より多くの人にバトンの楽しさを知ってほしいと思っています。

(原口 明子 食物栄養学科3年)



平成15年度 科学研究費補助金の交付決定

文部科学省から交付される平成15年度の科学研究費補助対象研究が、次のとおり決定した。(平成14年度からの継続分は除く)

研究種目	研究代表者	研究課題名	平成15年度交付額
基盤研究(C)(2)	津田 博子 教授(大学 栄養科学部)	食生活による骨粗鬆症予防の新しいとくみー植物イソプレノイドの新規機能の開発ー	200万円
	林 辰美 助教授(大学 栄養科学部)	乳幼児期の望ましい食生活の習慣化のための健康教育・栄養教育の理論的・実践的研究	160万円
	笠原 正洋 助教授(大学 人間発達学部)	発達臨床場面での保育園保育士の専門性を活かした介入の実態と展開に関する実証的研究	60万円
	久富 さよ子 教授(短期大学部 幼児教育科)	日本の伝統的音楽文化に学ぶ保育者の在り方	130万円
萌芽研究	岩田 京子 講師(短期大学部 食物栄養科)	成人英語学習者における目標到達支援プログラムの構築に関する研究	70万円
若手研究(B)	近江 雅代 講師(大学 栄養科学部)	低タンパク栄養状態の母親の母乳が、その乳仔に及ぼす影響に関する栄養形態学的研究	90万円
	中野 裕史 講師(大学 人間発達学部)	運動神経細胞の運動適応にかかわるシグナル伝達経路の研究	260万円
	柳澤 さおり 講師(大学 流通科学部)	目標設定状況における高業績者の学習プロセスの特徴に関する心理学的研究	100万円
	竹嶋 美夏子 助手(大学 栄養科学部)	女性ホルモンと関連食事因子の動脈硬化予防作用ーダブルノックアウトマウスによる検討	150万円
	中島 憲子 助手(短期大学部 幼児教育科)	幼児期・児童期の生活スタイルと遊びの経験がからだと心の発達に及ぼす影響	100万円
	中國 栄里 常勤助手(大学 栄養科学部)	低タンパク栄養での経時的なカテプシン類の発現量の検討	240万円

教職員の出版物



「Nブックス
臨床医学入門」
山元 寅男 編著
学校法人中村学園 顧問
津田 博子 共著
大学 栄養科学部 教授
(建帛社
平成15年4月)



「少年時代」
飼牛 万里 単著
大学 流通科学部 教授
(石風社
平成15年7月)



「税法入門
ゼミナール」
福浦 幾巳 編著
大学 流通科学部 教授
(創成社
平成15年6月)



「情報科学」
山田 啓一 編著
大学 流通科学部 助教授
福永 良浩 共著
大学 流通科学部 常勤助手
(西日本法規出版
平成15年4月)



「Managing IT
in Government,
Business &
Communities」
山田 啓一 共著
大学 流通科学部 助教授
(IRM
平成15年4月)



「マネジリアル・
マーケティングの
考え方と実際」
片山 富弘 単著
大学 流通科学部 講師
(五紘舎
平成15年4月)



「食品衛生学」
小田 隆弘 共著
短期大学部 食物栄養科
教授
(東京化学同人
平成15年4月)



「商業英語研究と
貿易研究の融合」
中谷 安男 共著
短期大学部 家政経済科
助教授
(成美堂
平成14年7月)



「映画英語教育論」
中谷 安男 編著
短期大学部 家政経済科
助教授
(スクリーンプレイ
平成15年3月)



「日本企業の環境会計
ー信頼性の確立に向けてー」
宮地 晃輔 単著
短期大学部 家政経済科
助教授
(創成社
平成15年3月)



「現代のエスプリ特集
「ウニコットの世界」」
山崎 篤 共著
短期大学部 幼児教育科
講師
(至文堂
平成15年6月)

著者は本学教員のみ記載、
()内は出版社及び発行年月

教職員の動き

配置転換 (平成15年6月1日付)

法人本部 総務部係長 庶務課課員
溝口 恒 (入試課係長) 坂口 咲子 (教務課課員)

訃 報

本学流通科学部教授の神品光弘先生は、7月3日、肝不全のため、神奈川県川崎市市内の病院で逝去されました。63歳。神品先生は、昭和42年電気通信大学大学院修了後、電気通信大学、帝京技術科学大学、中京学院大学を経て、平成13年4月から本学流通科学部教授に就任。マーケティングリサーチ論、パソコン演習、流通科学研究演習等の授業科目を担当され、学部長補佐、学務委員長などの役職にも就かれ、本学の教育・研究に多大な貢献をされました。謹んでご冥福をお祈りいたします。



神品 光弘 教授
(流通科学部)

表彰のお知らせ

トーストマスターズ・インターナショナル

英語スピーチコンテスト 西日本大会優勝/全日本英語スピーチコンテスト 特別賞(Funniest Speech)

本年4月12日開催のトーストマスターズ・インターナショナル英語スピーチコンテスト西日本大会において優勝、さらに、5月25日に開催されたトーストマスターズ・インターナショナル全日本英語スピーチコンテストでは、特別賞(Funniest Speech)を受賞した。(スピーチタイトルは両大会とも「Does the KISS Technique Work?」)



福田 慎司 講師
(大学 栄養科学部)

第9回芸術倶楽部大賞展「審査員特別賞」受賞

第9回芸術倶楽部大賞展において、昨年の第8回展に引き続き審査員特別賞を受賞した。(芸術出版社発行のBien Vol.20に掲載)今回の受賞作品による展覧会は東京銀座のすどう美術館にて、4月8日から4月13日まで一週間開催された。



井上 寛七 教授
(大学 人間発達学部)



「天上交響(胎蔵界)」水彩画、60×60cm



学校法人中村学園は、学園祖中村ハル先生が設立され、昭和28年（1953）12月24日に福岡県知事の認可を受け、翌、昭和29年（1954）4月福岡高等栄養学校を設置し、中村学園がスタートしました。昭和29年（1954）4月の福岡高等栄養学校開学から、平成16年（2004）4月で満50年を迎えます。